

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5	市町村との連携(事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え協力関係を築く)	ホーム便りを市に送り事業所の様子を知ってもらおう。	ホーム便りを市に送ることを家族に説明し、同意を得る。市担当者と相談する。	2 か月	ご家族様の同意を得、高齢介護課にホーム便りを送り、ホームの様子を伝えている。
2	23	思いや意向の把握(一人一人の思いや暮らしの希望、意向の把握にさらに努める)	思いや意向を日々の関わりの中より汲み取る。	日々の生活の関わりより気付きを大切にする。介護記録より介護計画に繋げる。	12 か月	基本情報の記録の仕方を見直し、新しい職員にも早く利用者の思いや意向を把握できるように努めている。
3	35	災害対策(地域との協力体制を築く)	地域の方に協力をお願いし、避難訓練を行う。	運営推進会議において地域の方と一緒に避難訓練を行う。	2 か月	地域の方と避難訓練を行うことにより協力体制が少しずつ築けてきている。
4	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	医療体制を充実させる。	訪問看護「ひまわり」と契約を結ぶ、看取りの研修の参加。本人・家族に看取りについて話し合う機会をもつ。	12 か月	22年5月より訪問看護ひまわりと契約を結び医療体制を充実させることが出来た。
5	35				か月	